

MBL 回帰演算プログラム操作手順書

ELISA により測定したスタンダードの吸光度とその濃度から、Excel 2000 のソルバー機能を利用して、4 係数ロジスティック演算式により試料の濃度を算出するためのプログラムです。

ソルバーを使うためには、[ツール]-[アドイン]からソルバーアドインを選んで組み込んでください。

組込みが終わると、[ツール]メニューの中に「ソルバー」という選択肢が現れます。

得られた吸光度と標準血清の濃度を入力して、サンプル中の濃度を計算してみます。

Step 1

セル A40 より下に標準曲線の濃度、B40 より下に該当する吸光度を入力します。入力は、低濃度から順じ高濃度側に行ってください。

入力した数値に応じ、グラフの青い点が移動します。

Step 2

[ツール]-[ソルバー]を選択します。

ソルバーを起動したときに表示されるダイアログ(ソルバー:パラメータ設定)の「実行」ボタンを押してください。ソルバーが最適化を行い、その結果をグラフの赤線で表示します。



